

臨床研究倫理審査委員会（治験） 議事要旨

【1 部】

開催日時 開催場所	令和 6 年 7 月 24 日（水）18:23～18:56 茨城県立中央病院 研修棟 A
出席委員名	三橋彰一、清嶋護之、鈴木保之、荒木眞裕、常樂晃、田村智宏、菅谷明德、渡辺敦史、羽生慶一、鈴木美加、鈴木洋志、外塚恵理子、多川英久雄、村上りつ子
課題及び審議結果を含む主な議論の概要	<u>継続試験</u> MSD 株式会社の依頼による 議題① 「胃腺癌及び食道胃接合部腺癌患者を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。 審議結果： 承認 議題② MSD 株式会社の依頼による 「胃癌を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。 審議結果： 承認 議題③ MSD 株式会社の依頼による 「胃癌（HER2 陰性）を対象とした MK-3475 の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。 審議結果： 承認 議題④ MSD 株式会社の依頼による 「胃癌患者を対象とした MK-3475 と MK-7902（E7080）の第 III 相試験」 国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果： 承認 議題⑤ MSD 株式会社の依頼による 「食道癌患者を対象とした MK-3475（ペムプロリズマブ）と MK-7902（E7080：レンバチニブ）の第 III 相試験」

国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑥ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による
「治療歴のある転移性結腸・直腸癌患者を対象とした BMS-986213 の非盲検、ランダム化、第 III 相試験」
治験継続の可否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑦ グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による
「未治療の dMMR/MSI-H を有する切除可能な結腸癌患者を対象とした dostarlimab の第 III 相試験」
年次報告および国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験継続の可否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑧ 株式会社新日本科学 PPD（治験国内管理人）の依頼による
「HER2 陽性転移性胃食道腺癌患者を対象とした Zanidatamab との化学療法併用の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑨ 小野薬品工業株式会社の依頼による
「胃がんを対象とした ONO-4578 の第 II 相試験」
院内で発生した重篤な有害事象および国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑩ アムジェン株式会社の依頼による
「第 Ib/II 相試験」
国内及び海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。また治験に関する変更について審議した。

審議結果： 承認

議題⑪ 日本イーライリリー株式会社の依頼による
「クローン病患者を対象とした LY3074828 の第 III 相試験－②」
年次報告および海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施
することの妥当性について審議した。

審議結果： 承認

議題⑫ アッヴィ合同会社の依頼による
「Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) の第 III 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当
性について審議した。また治験継続の可否について審議した。

審議結果： 承認

議題⑬ パレクセル・インターナショナル株式会社（治験国内管理人）の依頼によ
る
「多発性骨腫患者を対象とした REGN5458 の第 I／II 相試験」
海外で発生した重篤な副作用について引き続き治験を実施することの妥当
性について審議した。また治験継続の可否および治験に関する変更につい
て審議した。

審議結果： 承認